

# 若松かねしげ四季報(春季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2018年1月1日～4月10日

今年は大型選挙がない年です。元日は、山形と福島の新春街頭演説から始まり、通常国会開会前のタイミングを利用し、以前、報告しましたドイツ、オランダ視察を行いました。

通常国会の前半戦は、森友学園の公文書改ざん、自衛隊のイラク日報の事後報告等、いくつもの公務員の不祥事が発覚し、その対応に追われる国会運営の状況をご報告致します。

## 1. 政 局

### (1) 公文書改ざん問題と再発防止策

森友学園の公文書改ざん、陸上自衛隊さらには航空自衛隊のイラク日報の事後報告と、次から次へと公務員の不祥事が続き、政府はその対応に追われています。衆参の予算委員会では、総理を呼び、何度も集中審議を行うも、厚生労働省東京労働局長の高圧的発言が出たり、行政への信頼は地に落ち、その信頼回復には程遠い状況となりました。

自民公明与党としても、「公文書管理問題」に対する徹底した原因究明と再発防止策を検討するPTを立ち上げましたが、民間企業が不祥事を起こすと、先ずはその事実を公表するリスク管理の文化が行政には乏しく、今回の航空自衛隊のイラク日報の事後報告は安倍総理が直ちに公表を促すなど、公文書管理問題の解決には時間を要する課題となっています。

### (2) 平昌オリパラと北朝鮮対策

平昌オリパラでは、日本選手団の活躍はもとより、韓国と北朝鮮の合同チーム参加から一挙に融和ムードが広がり、電撃の中朝首脳会談となりました。これは国際社会による厳しい経済制裁が功を奏し、金正恩朝鮮労働党委員長を、中国、韓国、米国の首脳会談に追い立てたと理解されています。

これらの情勢下、日本は「拉致、ミサイル、核問題」解決のため、安倍総理は4月17日から20日の訪米でトランプ大統領との会談が予定され、具体的な北朝鮮の改善が見られるまで、厳しい経済制裁は継続することを確認し合うことが予想されます。

### (3) 後半通常国会

3月28日、参議院本会議で平成30年度予算が可決され成立しましたが、働き方改革、ひとづくり革命、生産性革命等、今国会に提出された64本の重要法案の多くの審議はこれからとなります。

4月9日の参議院決算委員会で、平成28年度全般質疑が開催され、私は40分間、安

倍総理ほか全閣僚出席の場で、質問の機会を頂きましたが、公文書管理問題はその場でも新たな事後報告が判明し、事態の收拾が困難な状況です。自公与党による「徹底した原因究明と再発防止策」を検討するPTが設置されましたが、さらに長い時間が必要です。

3月25日開催された自民党大会では、今後、他党と交渉する「方向性」を示した憲法9条等、4項目の改正条文案が紹介されましたが、現在の自衛隊日報問題等で対応に追われている政治情勢では、衆参の憲法審査会で結論を出すには程遠い状況となっています。

## 2. 参議院委員会・国会活動・党務

### (1) 委員会活動

#### 〔決算委員会〕

4月9日、全閣僚出席の平成28年度決算の全体質疑が行われ、私は40分間の質疑時間を頂きました。公文書管理に関する新たな問題がたびたび発生する状況下の委員会で、マスコミの関心が非常に高く、私の質問の3割を公文書管理問題に割きました。その時の小野寺防衛大臣に対する質問でも、情報本部による新たな日報の存在の発表がありました。

行政の予算と決算の分析比較情報がわかりにくく、その改善を財務大臣に要望し、日米首脳会談、核兵器廃絶を目指す賢人会議提案の対応、福島復興政府支援組織の在り方、新エネ社会実現への法制化等を総理に、JR北海道の新千歳空港駅快速エアポートの増便は国交大臣に質問し、テレビ、新聞で取り上げられました。(議事録参照)

#### 〔法務委員会〕

法務委員会では、成人年齢を18歳に引き下げる民法改正案等、重要法案がいくつかありますが、野党欠席で行われた3月22日の大臣所信に対する質問では、35分間にわたり、受刑者の再犯防止、所有者不明家屋、成人年齢引き下げへの環境整備、裁判手続きのIT化、外国人技能実習制度の課題等、多岐にわたる質問ができました。

翌23日も、平成30年度法務省予算に関する質疑を行い、更生保護施設の受入機能強化、入国審査官の人的体制整備、顔認証ゲートの外国人への利用拡大等を取り上げました。

4月5日にも、一般質疑として15分間、会社決算改革を取り上げ、日本の株主総会が集中する6月末の3日間で上場会社の7割が開催され、投資家との対話が不十分との国内外機関投資家の声を反映し、日本は85日と短く、米国124日、英国119日並みの株主総会を1か月延ばす提案をしました。(議事録参照)

#### 〔消費者問題特別委員会〕

上記3月22日法務委員会と同日の午前中、消費者問題特別委員会で、委嘱審査と呼ばれる平成30年度消費者庁予算に関する質疑を20分間行いました。設立10年を迎える消費者庁の成果、成人年齢を18歳に引き下げるに伴い、若年者に対する消費者教育

の一環として消費者庁が作成した「社会への扉」の活用の課題、公明党の食品ロス削減の取組みの受け止め方等を取り上げました。

## (2) 公明党政務調査会活動

現在、法務部会長代理（法務委員会理事）として、成人年齢引き下げ（民法改正）、所有者不明土地問題（法務局対応）等の重要法案審議のため、20回近い部会に参加しました。

内閣部会副部会長（消費者問題特別委員会理事）としては、竹谷とし子参議院議員が座長をしている「食品ロス削減議員立法」の審議に参加しています。

来年の福島県議選双葉郡選挙区は、平成27年度国政調査では平成22年度国政調査人口の10分の1となり、そのまま定数改正すると、現在の双葉郡2議席がゼロとなります。このため、特例により、平成22年国勢調査人口で定数を確定する選挙議員立法の立案者の一人として、選挙制度関係の衆参公明党議員に足を運び、党内承認を頂き、近日中の国会承認のため尽力しています。

横山信一参議院議員が委員長である「北海道開発委員会」では、JR北海道の路線存続問題の議論にも参画しており、上記4月9日の決算委員会全般質疑で、新千歳空港駅発の快速エアポート増便の前向きな答弁を国交大臣より引き出しました。

## (3) 全国代表者会議

2月24日、12年ぶりとなる明年の統一地方選と参院選のダブル選挙の運動論を確認する全国代表者会議が党本部で開催されました。12年前は、埼玉、神奈川、愛知3選挙区で公明党候補が敗北した反省から、大型選挙がないこの一年間、企業団体保守、広報、政策の3つの強化策が発表されました。

3月24日には、全国政策局長会が開催され、子育て、介護、中小企業、防災減災の4つの視点から、国民100万人の現場の声を聴く「100万人アンケート運動」が発表され、若松事務所は千人を目指し、頑張っています。

## (4) 北日本新エネ社会構想

1月26日、平成5年の衆議院議員初当選以来8冊目となる『北日本新エネ社会構想』の初稿原稿を出版社に提出しました。4月中の完成を目指し、原稿校正を行っていますが、ゴールデンウィーク以降、出版を紹介する企画を計画中です。この著書で紹介した法案要綱「新エネ社会形成推進基本法」実現のため、決算委員会で取り上げたり、活発に動いて参ります。

# 3. 国会外党務等

## (1) 新春街頭演説

毎年恒例の元旦街頭演説は、例年に比べ雪が非常に少ない山形市内2か所で開催しました。翌2日は、福島県新地町、相馬市、南相馬市と、浜通りで開催しましたが、強風でスピーカーが何度も風で飛ばされる難行苦行の街頭演説となりました。

## (2) 新春賀詞交歓会

仕事始めの1月4日、私は福島市、仙台市、郡山市、須賀川市4か所、佐藤秘書は、福島市JA五連、相馬市2か所、太田秘書は盛岡市と、分散して対応しました。

5日はいわき市、6日は、昨年末の上尾市長の不祥事により、新たに就任した畠山市長と、姉妹提携している本宮市で再会し、同日夜は西郷村に出席しました。

都内では、公明党を支援して頂いている30団体の賀詞交歓会に出席しました。

## (3) 復興加速化会議

3月3日、仙台市で開催された「宮城県本部復興加速化会議」では、国会議員が6つのグループに分かれて、様々な観点からの復興が議論され、斬新な会議となりました。

3月10日は、郡山市で「福島県本部復興加速化会議」が開催され、7首長による要望書を頂き、後日、それぞれの首長に回答書としてお返ししました。

加速化会議の前後には、被災地の現場視察を行い、特に印象的だったのが、山口代表等12名の公明党国会議員と、帰還率2%の浪江町住民との懇談会では、感動的な心の交流がありました。

上記以外にも岩手県本部で復興加速化会議を開催し、3会議に山口代表を含む40名の公明党国会議員が参加して頂き、大変感謝しています。

4月7日は、公明党東日本大震災復興加速化本部の井上本部長、高木陽介事務局長等11名の国会議員が、3年後以降の復興庁の組織の在り方を検討するため、双葉町の帰還困難区域、富岡駅、浪江町商店街、飯舘村幼小中学校を視察し、特に廃墟化した双葉町の特定復興再生拠点の様子を上記決算委員会で訴えました。

## (4) 東北方面幹事長党務

### 〔福島県本部代表業務〕

1月5日、郡山市の県本部で恒例の「旗開き」を開催し、4月の伊達市、田村市、5月の二本松市の4名の市議選完勝を決意し合いました。

南相馬市長選は門間新人候補、喜多方市長選は遠藤新人候補を応援し、ともに勝利しました。

〈伊達市〉公明党公認候補が今回から1名増の2名となり、2月10日は時局講演会を開催し、福島県本部全議員が伊達市に入り、議席増に挑戦しています。

〈田村市〉3月4日には、渡辺輝夫候補の家族会に参加、3月18日は時局講演会と会合後の後援会役員会にも出席させて頂きました。

2月4日県南総支部大会に出席し、昨年初当選の上杉衆議院議員も参加されました。

2月11日は、県本部主催で、全国弁理士会元会長の佐藤辰彦弁理士を講師に呼び、「福島のための知財支援」と題する議員研修を行いました。

3月2日は、石川博崇参議院議員（法務委員会委員長）、真山祐一さんと、郡山市にある産総研福島再生エネルギー研究所を訪問後、電池革命となりうるマグネシウム電池（福島市、竹谷さん同席）、飯舘村、福島医大4新施設の視察等、充実した福島視察ができました。

毎年恒例の県本部主催政経セミナーは、3月9日福島、3月24日会津若松市、郡山市、4月6日いわき市と、4か所で約2,300名の方々に出席して頂きました。

3月23日は、年一回の石川町国政報告会が開催され、40名近い町内有力者と意見交

換ができました。

#### 〔青森県本部〕

3月1日、小川原湖米軍F16戦闘機燃料タンク投棄事案に関する防衛大臣緊急要望を伊吹県代表、横山参議院議員、真山祐一さん、春日三沢市議らと行い、小野寺大臣より3月中の賠償金支払い、その後発生した費用も補填する旨の発言がありました。

3月17日は、青森市と八戸市で開催された党員会に、21日は大鰐町温泉懇談会と弘前党員会、4月1日はむつ市と三沢市で開催された党員会に出席しました。

#### 〔秋田県本部〕

1月31日、潟上市議選の応援に企業回りをしました。豪雪と高齢化で、街頭演説は一切行わない選挙戦でした。同日、北秋田支部党員会に出席し、40名の党员の方々に熱心に国政報告を聞いて頂きました。

2月18日は、前日の山形県本部新春政経セミナー終了後、秋田県本部から電話が入り、豪雪により早急に来てほしいとの依頼を受け、奥羽本線が大雪で不通のため、在来線、仙台までの高速バス、こまちと、5時間かけて大曲駅に到着。翌朝から横手市、湯沢市の豪雪状況を地元市長らから聞き、予算オーバーの除雪費用と空き家倒壊の危険性などの状況を翌日の19日、井上幹事長同行の下、湯沢市出身の菅官房長官に訴え、全面的に対応する約束を頂きました。

#### 〔岩手県本部〕

2月16日、「未来投資戦略研究会」と命名した国政報告会に60名の経営者に参加して頂き、国政報告を兼ねた経営セミナーを開催できました。今後、このセミナーを東北主要都市で開催して参ります。

2月28日朝は、奥州市議選で2人の候補者の応援演説を行い、その夜は札幌市の豊平総支部党員大会で国政報告させて頂き、最終便で都内に戻りました。

3月29日夜は、一昨年、岩手県初の公明新聞有権者比1%を達成した紫波町支部ですが、この日は1.5%目標を発表した支部会のため、万難を排して東京からとんぼ返りで出席させて頂きました。

#### 〔山形県本部〕

2月10日、昨年衆院選で公明比例区得票率25%を達成した戸沢村の自民党議員と公明党员（公明議員不在）合同の勉強会に講師として参加しました。

2月17日は、毎年恒例の山形県本部新春政経セミナーに出席し、県内自民党国会議員全員と、大勢の首長、保守系地方議員に出席して頂きました。終了後は、天童市温泉協会役員からの相談を受けました。

#### 〔宮城県本部〕

1月21日：県本部介護PT担当議員と岩沼市施設を訪問後、蔵王支部会に出席。

1月29日：宮城県本部賀詞交歓会に、山口代表、井上幹事長と出席。

2月19日：富谷市長の石井国交大臣への陳情に同席。

3月4日：県本部介護PT主催の団体要望に出席。

3月28日：多賀城党員会は平成30年度予算承認の本会議が夜開催となり欠席。

#### 〔北海道本部〕

1月20日：函館総支部賀詞交歓会に出席後、議員研修にも参加。

1月27日：札幌市内の道本部賀詞交歓会に出席後、北海道福島県人会と行政書士会の新年会にも参加できました。



- 1月28日：例年より豪雪の旭川総支部賀詞交歓会に出席。  
2月26日：夜の森田実氏講演会に出席し、その前の時間を利用し、北海道後援会会長と有力者回りをさせて頂きました。  
2月28日：500名出席して頂いた豊平総支部党员大会で国政報告をさせて頂き、改めて札幌市党员組織の大きさに感嘆しました。

#### (5) 会津若松市「新エネ社会とスマートシティ」セミナー

4月10日、会津若松市に本部を置く医療法人「温知会」主催の「新エネ社会とスマートシティ」セミナーに、3人の講師の一人として登壇させて頂き、前日の安倍総理との決算委員会質疑の内容を、ネットまたはTVCMで応募された500名の参加者に伝えることができました。

## 5. 若松事務所の現況報告

### ①国会事務所（恩田政策秘書、菊地私設秘書）

恩田さんと菊地さんがサポートしています。

\*東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1207号室  
Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

### ②福島事務所（佐藤公設第1秘書）

佐藤秘書外出時、中大先輩の保坂さんが事務所を守っています。

\*福島県福島市浜田町4-16 富士ビル1階  
Tel:024-572-5567 Fax:024-572-5587

### ③青森事務所（相馬公設第2秘書）

4月1日より、38歳の相馬さんが公設第2秘書となり、青森県と秋田県を担当することになりました。若い力に期待しています。

\*青森県青森市大野字山下150-14（公明党青森県本部内）  
Tel:017-764-6450 Fax:017-764-6460

### ④盛岡事務所（太田私設秘書）

太田さんは岩手県担当私設秘書となり、広大な岩手県内支持者拡大に集中して活動してもらいます。

\*岩手県盛岡市茶畑2-10-8 ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）  
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

### ⑤上尾事務所（資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

\*埼玉県上尾市仲町1-4-16  
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

以上